

2026年3月18日

お取引先各位

富士ダイス株式会社

タングステンをはじめとする重要鉱物をめぐる動向の変化と弊社の対応について

拝啓 時下ますますご清栄のことと心からお喜び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。

弊社は、昨年2月4日の中国によるタングステンを含む重要鉱物の輸出管理に関する公告の発表以来、お取引先様に向けて超硬耐摩耗工具・金型を安定供給し続けられるよう、社内体制を整えて対応を進めてまいりました。

以下に、現時点での状況と弊社の対応をご説明いたします。

1. 中国による輸出管理に関する最近の動き

中国商務部が、今年1月6日に、日本に対するデュアルユース（軍民両用）品目の輸出管理を強化する旨（商務部公告2026年第1号）を、また、2月24日には日本企業20社を輸出規制リストに追加しデュアルユース製品の輸出を禁止する旨（商務部公告2026年第11号・第12号）を発表し、タングステンを含む重要鉱物の管理は引き続き強化されています。弊社では、対象品目か否かの確認や、最終用途の確認をこれまで以上に丁寧に行っております。

今後も輸出管理の状況を注視してまいります。

2. タングステンを含む重要鉱物をめぐる国際的な動き

中国の輸出規制強化により、世界的にタングステンの供給不足感が強く、タングステン価格が最高値圏で推移しております。この状況を受け、今年2月4日、日・米・欧の3地域は「重要鉱物サプライチェーンの強靱化」に向けた共同声明を公表しました。また、3月5日には、日米欧の先進7カ国（G7）と同志国が重要鉱物に関する貿易協定の締結に向け協議している、と政府関係者が明らかにしたとの報道がありました。3月19日に予定されている日米首脳会談でも重要鉱物の協力強化が議題になる見通しとのことですが、中国の輸出規制強化がタングステンを含む重要鉱物の需給や価格に影響が及びやすい状況が続いています。

3. 弊社の対応について

弊社では、今のところ通常どおり生産・出荷を行っております。引き続き重要鉱物の調達先の複線化を進めるとともに、材料利用の効率化、リサイクル、原料の品質に関わらず使えるようにする技術開発、代替原材料の研究などに取り組み、持続可能な供給体制の維持に努めてまいります。

4. お取引先各位へのお願い

タングステンを含む重要鉱物をめぐる動向の変化に応じて、最終用途のご確認をさせていただくことがございます。また、既に受注が予測より増加しており、安定供給と品質確保を優先するため、受注量や納期、取引条件などについて個別にご相談をお願いする場合がございます。お取引先様には何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、弊社は昨年 10 月より超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業を立ち上げました。リサイクルの活用により、限りある重要鉱物を有効活用し、原料調達リスクの低減を図ってまいりますので、お力添えをお願いできればありがたく存じます。

リサイクルにつきましては営業担当者または、弊社コーポレートサイトの「[お問い合わせ](#)」ページよりご連絡をお願いいたします。

弊社は今後も、タングステンを含む重要鉱物をめぐる状況に臨機応変に対応してまいります。

新しい情報が入りました際には、速やかにお知らせいたします。

敬具